

人口ビジョン

【人口の現状】

■将来推計人口

165,077人(2020)→98,544人(2050)

■人口減の主な要因(現時点)

〈社会減〉

進学・就職等による転出超過
転勤・転職等による転出超過

〈自然減〉

出生率の低下
死亡数の増加



【将来の展望】

■合計特殊出生率

1.22(2022)→1.80(2050)→2.07(2060)

■人口移動率

転入：10%増・転出：10%減
20～39歳の年代の移動率20%増

■目標とする人口

10万8千人(2050)・8万7千人(2070)

■目指すべき将来の方向

親になる世代に釧路に定着していただくことが最も重要であるという、これまででの考え方を継承して取り組む。

【目指すべきまちづくり】

つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路

【最優先課題】

「域内循環」と「外から稼ぐ」取組の推進などにより、力強い経済基盤を構築し雇用の創出などを図り、親になる世代を確保して人口減少に歯止めをかけます。

【分野別 基本目標と施策】

基本目標1 経済活性化と質の高い雇用創出及び交流人口・関係人口の拡大を目指す

- ①釧路らしさを生み出す農林水産業の成長産業化
- ②釧路の「食」の高付加価値化と地場産品の販路拡大
- ③地域特性を生かした企業誘致
- ④中小企業・小規模事業者の「外から稼ぐ力」の強化
- ⑤地域に根ざした石炭産業の振興
- ⑥釧路の自然文化を生かした世界一級の観光地域づくり
- ⑦釧路の強みを生かした交流人口・関係人口の拡大

基本目標2 地域を支える人材育成・人材確保を図る

- ①地域を支える人材の確保
- ②釧路の強みを生かした移住・定住の促進及び関係人口の創出
- ③安心な暮らしを守る人材づくり

基本目標3 地域が支え、安心して働ける環境をつくる

- ①結婚や妊娠を支える環境づくり
- ②安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ③子どもの成長を支える環境づくり
- ④医療・保健サービスの充実

基本目標4 持続可能なまちをつくる

- ①コンパクト・プラス・ネットワークの推進
- ②ひがし北海道の中核都市としての拠点性の向上
- ③効率的な行財政運営の推進

総合戦略